

マナビス受験対談

河合塾マナビス校舎長 × 河合塾講師



河合塾英語科講師・木下陽介先生をお迎えして

山口校舎長「今回の学校休校は高校生にとって非常にしんどい時間だったと思います。マナビス生も在宅学習となり、自宅でいかに集中して勉強に取り組めるのかが問われました。」

木下先生「自己規律を保てるかという問題にぶつかりました。これは難しい問題ですよ。」

山口校舎長「難しいですよ。期間中は校舎から電話掛けを行い、学習面や体調面などの様子を確認し続けました。マナビス手帳を渡しているのです、前日に“1日の計画”を書いてもらい、それを実行するよう指導していました。」

木下先生「前日というのが大事ですよ。その日のことをその日に決めるといいと思います。」

山口校舎長「そして夜にまた明日の予定をたててもらいます。今日1日を振り返ってうまくいかなかったところはすぐに改善していく、と。」

木下先生「よく生徒に言うんですけど『学力も伸びるけど、勉強法も伸ばせるんだよ』と。今、仰った改善することで自分にとって最適な学習法が確立されます。それを身につけることがある意味一生の財産になりますよね。」

山口校舎長「最近自分で考えずに何でも教えてもらおう、という高校生が多いと言われますが(笑)。それは感じますか？」

木下先生「昔は『講師の言うことは聞かない』という生徒がいましたね(笑)。ある意味での自立心が強かったのでしょう。今の高校生はいい意味で素直。少し自分の意志が小さい気がしますが、それは周囲の様々な取り巻く環境が導いた結果だと思います。自分の力で生きていける力を身につけてほしい、とも思っています。」



河合塾マナビス
山口校舎長

山口校舎長「今年からセンター試験に代わり、大学入学共通テストが始まります。英語は発音・アクセントや文法問題がなくなり、長文問題のみの出題となりました。」

木下先生「難易度は上がると言わざるを得ないですね。共通テストはセンターよりも、より一層のスピードが求められます。」

山口校舎長「国公立大学の二次試験とは求められるものが異なりますよね。」

木下先生「難関国公立大学の問題は難易度が高く、頭の働かせ方でいうとゆっくり時間をかけて分析するという、その分析の深さこそが高得点につながります。一方、共通テストは見た瞬間にその英文の内容がイメージできる、この力が必要になるので、それぞれの対策が必要になりますね。共通テスト対策は時間をかけてしっかりやっておくべきだと思いますね。」



河合塾英語科
木下先生

山口校舎長「英語はとにかく単語が絶対大事だと思います。木下先生はマナビスの授業の中でも、単語の勉強の仕方について語っていますね。」

木下先生「単語については思う事が2つありまして。1つは継続力が試されるんですよ。毎日毎日コツコツと続けられますか、という問いかけだと思います。与えられた課題をしっかりとこなせるかどうか。単語は増えてくると単語同士のつながりが見えてくるので覚えるのが楽になってくるんですよ。もう1つは入試までに単語帳を覚えるのではなく、高3生の夏までには1冊を覚えてください。でないと覚えきれずに入試を迎えることになります。」

山口校舎長「高3生には休校明けにテストをするから2000語覚えてしまうよう伝えて先日単語帳1冊分のテストを実施しました。」

木下先生「テストはいいですね。生徒のみなさんもピリッとしたんじゃないですか？」

山口校舎長「ソワソワしてましたね(笑)。ただ、単語テストのために覚えるんじゃないよ、とは何度も言いました。単語帳はどれでもいいけど『この単語帳と心中する』つもりで1冊を徹底的にやりなさいと伝えてます。」

木下先生「私も同じです。1冊に絞って、あのページのおそこにあったよね、というところまでいけると完全に自分のものになってますから、何冊も手を出すよりもいいと思います。ここまでやるか、という1冊をぜひ。」

山口校舎長「河合塾マナビスでは、まもなく高2生が“受験生”となります。」

木下先生「高2生は今すぐ勉強を始めるべきだと思います。時間はあつというまに流れますから(笑)。高2生には『高3生と思って勉強してください。高3生と思って教えていきますから。それがみなさんのためになるから』と伝えていきます。これは高1生にも言えます。今からならどこへでも行けますよ。」

山口校舎長「とにかく遠慮せずに、今の偏差値で決めないことが大事だと思います。」

木下先生「判定は気にせず、偏差値はあくまで参考に。全統模試は易しい問題から難しい問題まで割り振られているので自分の位置を客観的に見て下さい。解説は河合塾屈指の講師陣が書いています。受験のプロが見て、どういった知識が必要なのか、また大学の採点を想定して作っていますので復習が大事です。マナビスでは模試指導にかなり力を入れてますよね。」

山口校舎長「模試を上げるのではなく、模試で学力を上げるよう指導していますね。」

木下先生「高2生は、この夏をどう過ごすかは重要です。今まで自分の中だけで解決できなかった問題や勉強の悩みを校舎に来てぶつけてほしいですね。違った視点でのアドバイスができると思います。今まで自分が悩んできたことは過去の先輩が悩んできたことで、それを散々解決してきたというプロセスが河合塾マナビスにはたくさんありますから。そのプロセスを信じていただいて、ぜひ門をたたいてほしいですね。」

山口校舎長「たしかに、夢を叶えた先輩の多くは『高2生の夏からマナビスに来た』というケースが非常に多いですね。最後に英語の学習について高校生に伝えたいことをお願いします。」

木下先生「英語の勉強というのは無限で、どこまで追求していってもみなさんの努力に報いてくれる科目です。頑張って英語の新しい芽を見つけてほしいですね。」

山口校舎長「本当にそうですね。高校生みなさん、頑張ってください。」